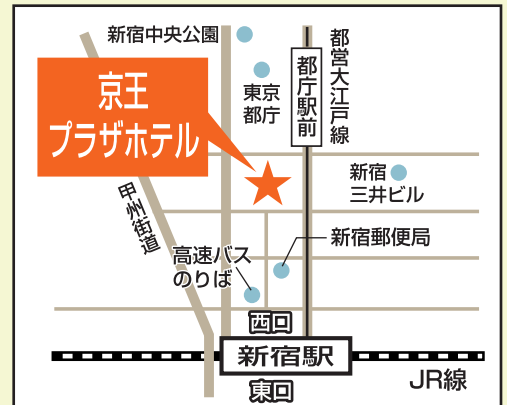


●●地域主権型道州制国民協議会主催●●
衆議院 元行革担当大臣 渡辺 喜美氏・衆議院議員 江田憲司氏による

特別講演会のご案内

「渡辺喜美先生・江田憲司先生を囲む会」

- 日 時 平成21年1月26日(月)
午後6時より(約2時間)
 - 参加費 無料
 - 定員 300名(事前登録制)
 - 会場 京王プラザホテル新宿
東京都新宿区西新宿2-2-1 TEL03-3344-0111 (大代表)
- JR新宿駅西口・京王線・小田急線・地下鉄(東京メトロ丸の内線・都営新宿線)新宿駅下車



〈渡辺 喜美氏 略歴〉(公式サイトプロフィールより)

昭和27年3月17日栃木県那須郡西那須野町生まれ。栃木県立大田原高校、早稲田大学政経学部、中央大学法学部卒。故渡辺美智雄秘書。通産相・外相秘書官を歴任。平成8年初当選。金融、経済、倒産法制、住宅ローン対策等の私案を次々と発表。政策新人類と称された。企画立案実現型政治家を目指す。当選2回の時、「自民党派閥システムこそ諸悪の根源」と表明して派閥を脱藩。以来、無派閥を貫く。アジア重視の議員外交も展開中。平成18年暮、安倍総理に突破力を買われ、行政改革・規制改革担当大臣となる。天下り根絶を目指した公務員制度改革をまとめた。地域活性化担当大臣としても地域活性化伝道師を任命し、地域のお宝発掘運動を広めた。また、道州制担当大臣として道州制ビジョン懇談会を立ち上げ、道州制実現を目指す。平成19年8月、金融・行政改革担当大臣となり、サブプライムローン問題を契機とした世界的金融不安が原油・食料高騰を招いており、大恐慌につながる金融危機の根本治療の処方箋を金融市場戦略チームにおいて提言。公務員制度改革も幹部人事の内閣一元化、キャリア制度の廃止等を柱とする改革基本法を制定し、官僚内閣制から真の議院内閣制への大転換をはかる。官僚主導から政治主導へ、中央集権から地域主権へ、統制型システムから市場型システムへの革命を目指して奮闘中。



〈江田 憲司氏 略歴〉(公式サイトプロフィールより)

昭和31年4月28日岡山県生まれ。東京大学法学部卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省。反骨精神旺盛ながらも、大臣官房総務課、生活産業局、資源エネルギー庁などを経験。その後ハーバード大学へ留学後、通産省に復帰。工業技術院で「90年代の科学技術ビジョン」を執筆。首相官邸に出向し、海部・宮沢両内閣の総理演説・国会を担当。その後再び通産省に復帰。経済政策の司令塔、産業政策局総務課長補佐となる。日本経済混迷の要因が「構造的問題」にあることをはじめて指摘し、「新社会資本整備構想」を推進。通産省経済協力室長として、中国やベトナムなどの開発途上国の経済発展を促進。OECD(パリ本部)の国際会議にも毎月出席。村山内閣発足と同時に、橋本通産大臣の事務秘書官に就任。阪神淡路大震災の復興や地下鉄サリン事件の收拾策、全世界に報道された「日米自動車交渉」などに携わる。橋本内閣発足と共に総理大臣秘書官(政治・行革担当)に就任。行財政改革等の構造改革を推進。特に、大蔵改革や郵政民営化等をめぐって、族議員や官僚と激しく渡り合う。ただ、多くの仕事を通じて、与野党問わず、衆参国会議員の大多数の知己を得る。橋本内閣総辞職と同時に、通産省には戻らず、首相官邸(内閣官房)にて退職し、ハワイを放浪生活。平成14年に衆議院議員に初当選後、平成17年衆議院議員総選挙で二回目の当選。現在に至る。

事前登録申込書 送信先03-5318-5523

ご氏名		連絡先	
ご住所	〒		
Eメールアドレス			
ご紹介者ご氏名			

地域主権型道州制国民協議会

[事務局]株式会社プロスページャパン内
〒169-0073東京都新宿区百人町2-5-8科研ビル4F
TEL03-5318-5522(代)FAX03-5318-5523
dousyu@prosper-japan.jp